

B 個別学習（B1）

主な学習活動

児童が一人で学習を進める。文字の書き順なども自分で何度も確認できる。

1 本時のねらい

特別支援学級における複数学年の学習指導において、低学年の児童でも一人で学習を進めることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

デジタル教科書

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

デジタル教科書の『まなぶ』の『ひらがな・カタカナ』『漢字』を活用し、文字の書き順や読み方、画数、使い方など、児童が自主的に何度も確認しながら学習を進められる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	ひらがな・カタカナ・新出漢字の学習をする。	デジタル教科書の操作の方法を教えることにより、児童は興味・関心を持ち、たとえ、初めは操作がうまくいかなくても、自主的に取り組むうちに操作できるようになり、一人でも文字の学習に取り組むようになる。

電子黒板**4 活用効果**

特別支援学級なので時間によっては、最大4つの学年が一度に授業を受けることがある。そのようなとき、1つの学年でも児童一人で学習に取り組むことができると、ほかの学年の児童をその分厚く支援することができる。教師の負担も少なくなる。